

J P V Aメールマガジン【Y E H E Y ! J P V A : 9】

第9号

発行日：2008年4月9日

Y E H E Y ! J P V A 第9号

I N S I D E N E W S

速報！：第三回MKD卒業式 無事に終了！40名の学生が巣立つ！！

MKD後援会 ~エッセイコンテスト 実施！~

シリーズ：~MKDの今~（日本語スピーチコンテスト全国大会！MKDが快挙！）

MKD 琴クラブコンサート無事終了！

お知らせ&募集

編集後記

1

速報！~第三回ミンダナオ国際大学 卒業式~

MKD卒業式 無事に終了！40名の学生が巣立つ！！

MKD（ミンダナオ国際大学）は、当協会のこれまでの活動の集大成として2002年に内田あや子教育基金で創立された大学で、国際学科、福祉学科、教員養成学科の3学科があります。

3月28日（金）に第三回ミンダナオ国際大学（MKD）の卒業式が行われました。今年の卒業生は40名です。国際学科17名、福祉学科20名、教員養成学科が3名がMKDを巣立って行きました。

続きはこちら

<http://www.jpva.org/pdf/mailmagazine/mm-davao9-1.pdf>

MKD (ミンダナオ国際大学) のニュースはこちら
<http://jpva.org/mkd-news.html>

MKD (ミンダナオ国際大学) はこちら
<http://www.jpva.org/mkd.html>

2

MKD後援会 ~エッセイコンテスト実施!~

エッセイコンテスト テーマ:新しい日比関係について

MKD後援会はMKD (ミンダナオ国際大学) の学生に対して、新しい日比関係を考えるためのエッセイコンテストを実施しました。

このエッセイコンテストは、MKD後援会長の後藤氏の呼びかけで日本からフィリピンを見るのではなく、フィリピン側から日本を見る視点を育てるために、今回初めて行われました。

また、環境エッセイコンテストもこの4月、5月の夏休み期間に実施される予定です。この環境エッセイコンテストは東京調布むらさきロータリークラブ様のご提案によるものです。

今回は、学生のエッセイをひとつ、ご紹介致します。

日本とフィリピンの関係を改善するためにどんなことができるか

クリスチン・デラ・クルス

磁力の法則によると、同極では反発しあいますが、異極ではむしろ引き合います。言い換えれば、この科学的現象は、科学を通して引き合いのではなく、友だちにつながられた関係によって引き合うのです。日のいづる国、東洋の真珠、二つの国には、違う宗教があり、

文化、伝統があります。違いはありますが、似ている部分もあります。皮肉ですが、それが真実です。二つの国は、長期にわたり、手を取り合い、兄弟の間柄を育んできました。この関係は、二つの国によって築きあげられ、その関係は未だに生きています。しかし、関係という言葉はどのように定義すればいいのでしょうか。

続きはこちら

<http://www.jpva.org/pdf/mailmagazine/mm-davao9-2.pdf>

M K D (ミンダナオ国際大学) のニュースはこちら

<http://jpva.org/mkd-news.html>

M K D (ミンダナオ国際大学) はこちら

<http://www.jpva.org/mkd.html>

3

シリーズ～ミンダナオ国際大学の今～

日本語スピーチコンテスト全国大会終了！ M K D が学生部門 4 年連続の 1 位に！！

2008 年 2 月 23 日に国際交流基金マニラ事務所主催の日本語スピーチコンテスト全国大会がマニラで行われました。

今年は、学生部門、一般部門の両部門で最優秀賞を M K D の学生が獲得しました。学生部門においては 4 年連続で最優秀賞を受賞しています。

最優秀賞を獲得したのは、学生部門では M K D 国際学科 1 年シェーン・パヘガルさんです。一般部門では同じく、国際学科 1 年のジョイ・バルントさんが選ばれました。2 名のスピーチのビデオ映像を公開してありますのでご覧ください。

スピーチコンテストの映像はこちら

<http://jpva.org/video.html>

スピーチコンテストの掲載記事はこちら

<http://jpva.org/mkd-news.html>

MKD (ミンダナオ国際大学) はこちら
<http://www.jpva.org/mkd.html>

4

募集のお願い

デジタルカメラを寄付して頂けませんか？

ご家庭や職場などで使われなくなったデジカメを募集しています。集めたデジカメはMKD (ミンダナオ国際大学) に寄贈され、学生のボランティア活動など役立てる予定です。完全に破損してしまっているデジカメや動作しないものはご遠慮ください。また、事務局までの送料は恐れ入りますが各自ご負担頂きますようお願い申し上げます。

連絡先

〒182-0006
東京都調布市西つつじヶ丘2 - 30 - 1
(特活) 日本フィリピンボランティア協会事務局
TEL : 03 - 5384 - 9536
FAX : 03 - 3326 - 5037
E - MAIL : jpva@mua.biglobe.ne.jp

5

編集後記

メールマガジンも第9号の発行となりました。皆様、ご購入ありがとうございます。
先日、都内では猛烈な雨、風が吹き荒れていました。桜の花も一気に終わりを告げてしまいましたね。

さて、4月5日産経新聞によると、東南アジアでコメの高騰を背景に買いただめが広がり、一部でコメの不足が深刻化しているとのことです。コメの輸入国フィリピンでは4月に入り、レストランのライスをすべて「半ライス」にする店も現れ、価格上昇は続くとみられており、“米騒動”を懸念する声も出ている。と掲載されています。

(<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20080405-00000931-san-int>)

フィリピンの方と食事をすると、ライスが大盛り、おかず少々という光景をよく見ます。これはフィリピンにおいてお米が他の食材に比べ、安く手に入るということが、理由のひとつだと考えられます。ダバオにおいては安いもので1kg、15ペソ~20ペソ(約30円から50円)で手に入ります。庶民の生活にお米はなくてはならないものです。それだけにお米の値上げは人々の生活に大きな影響を与えることが予想されます。

世界的にも食糧不足が心配されていますが、私たちひとりひとりが食料を無駄にしない、大切にすることを求められていくのではないのでしょうか。

皆さん風邪を引かないようにお体にお気をつけて、お過ごしください。
(事務局：長谷川大輔)

=====

【JPVAメールマガジン】2008年4月9日(第9号)

発行元：(特活)日本フィリピンボランティア協会 (<http://www.jpva.org>)

編集担当：長谷川大輔

問い合わせ：東京事務局(中井・長谷川)

ご意見、ご感想：info-jpva@silk.plala.or.jp

JPVA入会案内：<http://www.jpva.org/jpvaoffice.html>

メールマガジンの解除、メールアドレスの変更：info-jpva@silk.plala.or.jp

お名前、解除または変更するメールアドレスを記入してください。

Copyright(C) Japan Philippines Volunteer Association 2008

掲載記事の無断転載はおやめください。